

概 況

平成23年7～9月期の出荷数量は、前年同期に比べ、土木向けは減少、建築向けは増加し、13,948.2千³、前年同期比4.5%の増加となった。

1. 需要先別の動向

土木向けは5,163.1千³、前年同期比▲1.5%と前期に引き続き減少となった。このうち鉄道・電力向けのみが641.2千³、同21.3%と増加し、港湾・空港向けが477.9千³、同▲11.6%、道路向けは1,439.4千³、同▲5.9%、その他向けは2,604.4千³、同▲1.4%の減少となった。

建築向けは8,785.1千³、同8.3%と4期連続の増加となった。このうち官公需向けのみが1,329.4千³、同▲8.6%と減少したものの、住宅向けは4,388.0千³、同12.8%の増加、非住宅向けも3,067.7千³、同10.8%の増加となった。

2. 地域別の動向

経済産業局(沖縄は内閣府沖縄総合事務局)別にみると、北海道は910.9千³、前年同期比9.8%の増加となった。このうち土木向けは421.1千³、同2.1%と6期振りの増加、建築向けは489.8千³、同17.3%と4期連続増加となった。内訳をみると、道路向け(同▲14.6%)、その他向け(同▲18.5%)が減少したものの、鉄道・電力向け(同141.2%)、港湾・空港向け(同10.9%)、住宅向け(同17.8%)、非住宅向け(同29.2%)などが増加した。

東北は1,294.1千³、同5.5%の増加となった。3月の震災の影響で大幅な減少が続いたが、19年1期以来の増加となった。このうち土木向けは659.8千³、同8.5%、建築向け634.2千³、同2.6%とともに増加となった。北海道新幹線の着工が始まり、鉄道・電力向け(同78.7%)が大幅に増加、港湾・空港向け(同11.4%)、その他向け(同15.3%)、住宅向け(同6.6%)、非住宅向け(同16.1%)なども増加したが、道路向け(同▲32.2%)、官公需向け(同▲22.1%)が減少した。

関東は5,113.8千³、同2.7%と4期連続増加となった。このうち土木向けは1,437.1千³、同▲2.4%の減少となったものの、建築向けが3,676.7千³、同4.9%と増加となった。港湾・空港向け(同▲32.6%)、官公需向け(同▲14.1%)などが減少したものの、住宅向け(同11.9%)が増加した。

中部は1,644.0千³、同7.0%と4期連続増加となった。このうち土木向けは700.0千³、同▲1.5%の減少、建築向けは944.0千³、同14.3%と4期連続増加となった。港湾・空港向け(同▲30.2%)、などが減少したものの、非住宅向け(同18.8%)、住宅向け(同12.3%)などが増加した。

近畿は1,489.6千³、同11.1%の増加となった。このうち土木向けは554.9千³、同5.5%の増加、建築向けも934.8千³、同14.7%とともに増加となった。鉄道・電力向け(同56.5%)、道路向け(同16.3%)、住宅向け(同10.9%)、非住宅向け(同27.5%)などが増加したものの、港湾・空港向け(同▲17.7%)、その他向け(同▲3.9%)などが減少した。

中国は973.3千³、同2.9%の増加となった。このうち土木向けは421.2千³、同▲5.5%と、6期連続の減少、建築向けは552.1千³、同10.3%と5期連続増加となった。港湾・空港向け(同▲12.6%)、道路向け(同▲15.5%)、官公需向け(同▲16.4%)などが減少したものの、鉄道・電力向け(同96.8%)、住宅向け(同14.6%)、非住宅向け(同22.2%)などが増加した。

四国は611.4千³、同▲6.4%と18年の2期から今期まで連続の減少となった。このうち土木向けは295.5千³、同▲15.4%、7期連続の減少、建築向けは315.9千³、同4.0%と4期連続増加となった。官公需向け(同6.7%)、住宅向け(同11.2%)のみが増加し、鉄道・電力向け(同▲35.9%)、港湾・空港向け(同▲52.7%)、道路向け(同▲16.1%)、その他向け(同▲8.9%)、非住宅向け(同▲5.5%)など軒並み減少した。

九州は1,551.1千³、同4.3%と4期振りの増加となった。このうち土木向けは608.9千³、同▲3.8%と19年3期から今期まで連続の減少、建築向けは942.2千³、同10.3%と5期連続の増加となった。港湾・空港向け(同▲21.2%)、道路向け(同▲10.9%)、官公需向け(同▲12.9%)などが減少したものの、鉄道・電力向け(同33.2%)、住宅向け(同18.4%)、非住宅向け(同10.5%)などが増加した。

沖縄は360.0千³、同1.5%の増加となった。このうち土木向けは64.5千³、同▲21.0%の減少、建築向けは295.5千³、同8.2%と増加となった。鉄道・電力向け(同▲74.1%)、道路向け(同▲17.8%)、その他向け(同▲26.8%)、非住宅向け(同▲12.9%)などが減少したものの、港湾・空港向け(同29.8%)、住宅向け(同17.0%)などが大幅に増加した。

3. 月別の動向

月別に出荷動向をみると、7月が4,661.1千³、前年同月比3.8%、8月が4,522.3千³、同8.8%、9月が4,764.9千³、同1.3%と各月とも増加となった。

このうち土木向けは、7月が1,741.0千³、同▲1.5%の減少、8月が1,659.5千³、同4.2%の増加、9月は1,762.6千³、同▲6.2%の減少と8月のみ増加となった。

建築向けは、7月が2,920.1千³、同7.3%、8月が2,862.8千³、同11.6%、9月は3,002.3千³、同6.2%と各月とも増加となった。

4. 設備能力及び従業員数

9月末の全国のプラントの基数は1,852基で、前期末(23年6月末)より17基の減少、前年同期末(22年9月末)より79基減少した。月間生産能力は48,643千³、前年同期比▲4.1%の減少となった。

9月末の従業者数は、22,071人、前年同期末より1,266人(▲5.4%)減少となった。